

今こそ、患者・利用者・地域のみなさんの医療と介護、そして暮らしを守るために、
全職員の知恵と力を合わせて奮闘しましょう!!

Vol.2
2011.3.19

茨城県民医連・東日本大震災復旧ニュース

☆ケアハウスでは、3/17にやっと水が 供給されました

3/17ケアハウスで、水が使えるようになりました。下水道の復旧はかなり先の見通しです。

☆福島県から避難してきた方が、城南病院 CL を受診！

いわき市から避難してきた方が附属クリニックを受診されました。小名浜生協病院は高台にあったため、被害は少なかったようです。しかし原発事故とガソリン不足で流通が滞り、物が無いとのことでした。

県医師会から、福島原発避難地域の住民の方の医療を継続するための協力依頼がきました。

☆組合員訪問で、おにぎりを届けています。～地震でアパートが壊れ、立ち退きを迫られて～

友人が「アパートが地震で壊れ、立ち退きを迫られているが、子どもが4人いていくところがない。」と相談を受けました。田中市議の「地震災害無料相談」を紹介しました。本町のKさん宅は玄関前のブロック塀がめちゃくちゃ、これからの暮らしが心配です。「病院食養科特製のおにぎりセット」を届けました。元吉田のUさんは87歳で夫婦二人暮らしです。スーパーやコンビニまで遠く買い物が大変そう、おにぎりを届けました。

支援に感謝!!

◇城南病院に、透析患者さんの帰院が始まる。～19日は川崎協同病院から

～ライフラインが復旧し、神奈川、東京民医連の各院所から、26日までに全員が帰ります～

3/19は城南病院に入院中だった3人の方が、川崎協同病院の職員の皆様に送って頂き戻ってきました。川崎からの車中で、Yさんは「東京見物をさせてもらっちゃって」と明るく話していたそうです。急なことだったのに前向きで、私たちが励まされます。

患者様を送ってくれた川崎協同の皆様です



◇野菜の販売！私たちの産直センターから、新鮮な野菜が届きました。～保健生協～

病院の復旧に専念し、スーパーでの買い物ができず（売り切れ、入場制限！）に困っていた多くの職員のために組織部が産直野菜を販売しました。農家では流通が滞ったことで出荷できずに困っているそうです。売り上げは東日本大震災支援カンパにします。

◇水戸市に対して往診・訪問・患者・介護利用者の送迎など困難を極めていると訴えました。

⇒検討の意があるとの答えです。 水戸市からの情報に注意を！

◇茨城共同運動連絡会で、「福島原子力発電所の震災事故に関する緊急要請」を実施。

別紙の要請を県に対して行いました。県も対応に苦慮している様子が伺いとれました。モニタリングポストは、東海原発に対する3機しかなく、その全てを設置しているとの回答でした。

2011年3月18日

茨城県知事 橋本昌様

県民要求実現茨城共同運動連絡会
茨城県労働組合総連合
茨城県商工団体連合会
農民運動茨城県連合会
新日本婦人の会茨城県本部
茨城県民主医療機関連合会
(公印省略)

福島原子力発電所の震災事故に関する緊急の要請について

未曾有の大震災にあたり被災者救援・災害復旧等にむけたご尽力に敬意を申し上げます。本県は福島県からの避難民の受け入れを行っており、この点においても敬意を表します。

東日本大震災では、福島の第一・第二原発が地震と津波により、高濃度の放射能が広がっています。周辺住民は避難指示を受け、30キロ圏の住民に屋内退避が求められるなど、住民の不安は極限まで広がっています。

さて、茨城県はすでに今回の事故を受け、放射線の量を測定する可搬型モニタリングポストを北茨城市などに設置して観測を始め、測定データをホームページで公表するなど県民の信頼に応える努力がされているところですが、その結果は通常の数値を示しており、茨城県民の不安が高まっています。事態収束までその努力の継続と、事態悪化を想定しての万全な体制構築を求めるものです。

については、ご多忙のところ恐縮ですが、下記の通り要請いたします。

記

- 1、福島原発事故に対して、政府や東京電力、あるいは原子力保安院任せにせず、茨城県として積極的に情報収集に努め、迅速な対応が取れる体制を整えること。
- 2、科学的かつ正確な情報を、随時県民ならびに各自治体に伝えるとともに説明を行うこと。そのためにも、モニタリングポストを増設し、県内全域でのモニタリングをすること。
- 3、現在ホームページで公表されている放射能測定状況を、茨城圏域デジタル放送での文字情報を活用するなど、インターネット環境のない県民へも伝わる工夫をすること。
- 4、公表するデータは、被曝線量のみならず、放射線源、放射線種類も明らかにすること。
- 5、放射能汚染に備え、被曝の調査や除染等の対応を準備すること。被曝調査機材の各保健所ごとの準備、内部被曝対応薬である安定ヨウ素剤の確保、診察・服薬指導の可能な医師と診療体制、それぞれを確保すること。
- 6、県内の原子力施設を総点検し、震災による被災状況を明らかにし、その結果と対応について公表すること。